

I 展示活動

1 企画展

箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵

平松礼二展

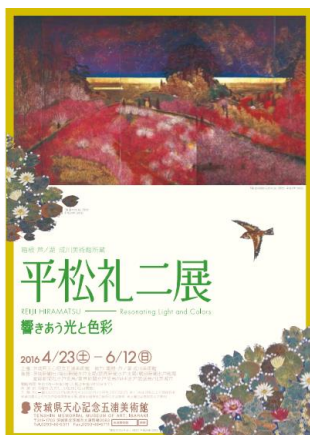
—響きあう光と色彩—

- 会期 平成28年4月23日(土)～6月12日(日)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：箱根・芦ノ湖 成川美術館
後援：茨城新聞社，朝日新聞水戸総局，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，北茨城市
- ポスター B2
- チラシ A4
- 鑑賞ガイド A4 4頁
- 開催日数 45 日間
- 入場者数 11,291 人
- 観覧料 一般620(510)円／高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画74点、素描5点
- 内容解説

現代日本画壇を代表する画家の一人である平松礼二は、伝統絵画の琳派を現代感覚で蘇らせた「路」や「睡蓮」シリーズなど独自の風景画や花鳥画を描き、近年にフランスのジヴェルニー印象派美術館(2013年)やドイツのベルリン国立アジア美術館(2014年)で個展を開催して成功するなど国内のみならずヨーロッパでも注目されている。本展は平松礼二の国内最大のコレクションを有する箱根・芦ノ湖 成川美術館の協力により、初期から近作までの大作を含む作品を展示し、その多彩な芸術を紹介した。

- 担当 横山智絵(主任学芸主事)
- 関連事業
特別ギャラリートーク
日時 4月24日(日)午前11時00分～
講師 平松礼二
平松礼二サイン会
日時 4月24日(日)午前11時50分～
展覧会担当者によるギャラリートーク
日時 5月14日(土)，5月29日(日)
各日共 午後1時30分～

- 関連記事
・平松礼二さん大作集う 23日から五浦美術館
4月18日【読売新聞】
・平松礼二氏の作品 日本画・素描79点 県天心記念五浦美術館
4月20日【朝日新聞】
・箱根・芦ノ湖 成川美術館 平松礼二展—響きあう光と色彩
4月21日【新美術新聞】
・平松礼二展 茨城県天心記念五浦美術館
5月9日【両毛新聞】
・茨城県天心記念五浦美術館で平松礼二展 ギャラリートークに多くのファンが来場
【月刊美術6月号 No.489】
- 関連放送
・「いわきおもしろミュージアム」 5月13日【FMいわき】
・「はらぺこキッズ」 5月21日【FMひたち】



ポスター B2



チラシ A4



鑑賞ガイド(表) A4

● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	西暦	材質・技法	形状	大きさ (cm)
I 心の風景 — 「路」シリーズ						
1	路 唐くのにの朱い山	昭和61年	1986	紙本・彩色	六曲一隻屏風	210.0×450.0
2	路 いつかきた路	昭和62年	1987	紙本・彩色	六曲一隻屏風	210.0×450.0
3	路 長良川	昭和63年	1988	紙本・彩色	六曲一隻屏風	210.0×450.0
4	路 西湖にて	平成元年	1989	紙本・彩色	六曲一隻屏風	210.0×450.0
5	路 「早春賦」が聞こえてくる	平成3年	1991	紙本・彩色	額装	111.0×161.0
6	路 波の国から巡りくる	平成4年	1992	紙本・彩色	六曲一隻屏風	190.0×512.0
7	路 木の道	平成4年	1992	紙本・彩色	額装	145.5×97.0
8	路 白い梅と朱い梅の季	平成5年	1993	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
9	路 桔梗ヶ原	平成5年	1993	紙本・彩色	四曲一双屏風	各170.0×340.0
10	路 白い山脈が見える里	平成5年	1993	紙本・彩色	額装	65.2×90.9
11	路 秋月に白い波	平成5年	1993	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
12	路 月と花の宴	平成5年	1993	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
13	路 四月の雨	平成5年	1993	紙本・彩色	四曲一双屏風	各190.9×346.0
14	路 雨の音	平成5年	1993	紙本・彩色	額装	112.1×162.1
15	路 秋雨の頃に	平成5年	1993	紙本・彩色	額装	65.2×90.9
16	路 六月の雨	平成6年	1994	紙本・彩色	額装	65.2×90.9
17	路 「赤とんぼ」の歌が聞こえてくる	平成7年	1995	紙本・彩色	額装	112.1×162.1
18	路 氷雨 (仏・ジヴェルニー)	平成8年	1996	紙本・彩色	六曲一双屏風	各170.0×369.0
19	路 小菊雨晴	平成8年	1996	絹本・彩色	六曲一双屏風	各170.0×369.0
20	路 散り椿	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	112.1×162.1
21	路 はつゆきの舞	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	112.1×162.1
22	路 雨に咲く花	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	97.0×162.1
23	路 野菊と星座	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
24	路 あかねの頃に	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
25	路 草の詩歌	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
26	路 晩秋の池畔	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
27	路 草思草愛	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	72.7×116.7
28	路 静かなる花の宴	平成10年	1998	紙本・彩色	額装	72.7×116.7
II モネとの出会い — 「ジャポニスム」シリーズ						
29	晩秋の池	平成16年	2004	紙本・彩色	額装	53.0×72.7
30	ジャポニスム 季の色	平成16年	2004	紙本・彩色	額装	97.0×145.5
31	睡蓮さくら図	平成22年	2010	紙本・彩色	額装	50.0×65.2
32	池辺の夢花	平成24年	2012	紙本・彩色	額装	72.7×90.9
33	睡蓮の池・桜	平成24年	2012	紙本・彩色	額装	97.0×145.5
34	睡蓮の池・柳	平成24年	2012	紙本・彩色	額装	91.0×72.7
35	柳と睡蓮	平成25年	2013	絹本・彩色	額装	97.0×145.5
36	紅葉讃 モネの池	平成25年	2013	紙本・彩色	四曲一隻屏風	170.0×340.0
37	ジヴェルニー タの池	平成25年	2013	紙本・彩色	額装	116.7×116.7
38	幻想 ジヴェルニーの池	平成25年	2013	紙本・彩色	額装	116.7×116.7
39	ノルマンディーの花月	平成25年	2013	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
40	モネの池 冬	平成25年	2013	紙本・彩色	額装	65.2×91.0
41	池に紅葉	平成25年	2013	紙本・彩色	額装	65.2×91.0
42	色彩のカルテット	平成25年	2013	紙本・彩色	額装	97.0×145.5
43	白梅睡蓮	平成26年	2014	紙本・彩色	額装	90.9×65.2

No.	作品名	制作年	西暦	材質・技法	形状	大きさ (cm)
44	紅梅睡蓮	平成26年	2014	紙本・彩色	額装	90.9×65.2
III 多彩な表現 — 「花」シリーズを中心に						
45	日にちなむ—海上日輪	平成5年	1993	紙本・墨	軸装	80.3×100.0
46	月にちなむ—昇仙半月	平成5年	1993	紙本・墨	軸装	80.3×100.0
47	火にちなむ—桜島炎上	平成5年	1993	紙本・墨	軸装	80.3×100.0
48	水にちなむ—秋雨	平成5年	1993	紙本・墨 彩色	軸装	80.3×100.0
49	木にちなむ—樹壽	平成5年	1993	紙本・墨	軸装	80.3×100.0
50	金にちなむ—金色の海へ続く道	平成5年	1993	紙本・墨 金箔	額装	116.8×72.8
51	土にちなむ—散花の道	平成5年	1993	紙本・墨 彩色	軸装	80.3×100.0
52	NEW YORK — MOON	平成6年	1994	紙本・彩色	二曲一隻屏風	170.0×169.5
53	双梅図	平成13年	2001	紙本・彩色	二曲一双屏風	各169.5×170.0
54	花不二図	平成22年	2010	紙本・彩色	額装	65.2×50.0
55	桜の頃	平成22年	2010	紙本・彩色	額装	50.0×65.2
56	鮎	平成22年	2010	紙本・彩色	額装	50.0×65.2
57	富士桜	平成22年	2010	紙本・彩色	額装	50.0×65.2
58	日本の新しい朝の光	平成23年	2011	紙本・彩色	額装	80.3×116.7
59	春のしらべ	平成24年	2012	紙本・彩色	額装	72.7×90.9
60	夕の小菊	平成24年	2012	紙本・彩色	額装	72.7×90.9
61	夕月さくら	平成24年	2012	紙本・彩色	額装	90.9×65.2
62	早春記	平成24年	2012	紙本・彩色	額装	72.7×100.0
63-1	花扇面12ヶ月 1月 「梅」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-2	花扇面12ヶ月 2月 「辛夷」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-3	花扇面12ヶ月 3月 「椿」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-4	花扇面12ヶ月 4月 「桜」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-5	花扇面12ヶ月 5月 「ふじ」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-6	花扇面12ヶ月 6月 「あじさい」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-7	花扇面12ヶ月 7月 「竹」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-8	花扇面12ヶ月 8月 「朝顔」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-9	花扇面12ヶ月 9月 「ききょう」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-10	花扇面12ヶ月 10月 「おみなえし」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-11	花扇面12ヶ月 11月 「菊」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-12	花扇面12ヶ月 12月 「枯柳」	平成5年	1993	紙本・彩色	扇面・額装	14.5×46.5
63-9	日にちなむ—海上日輪	平成5年	1993	紙本・墨	軸装	80.3×100.0
63-10	月にちなむ—昇仙半月	平成5年	1993	紙本・墨	軸装	80.3×100.0
63-11	火にちなむ—桜島炎上	平成5年	1993	紙本・墨	軸装	80.3×100.0
63-12	水にちなむ—秋雨	平成5年	1993	紙本・墨 彩色	軸装	80.3×100.0
素描						
素-1	万里の長城、北京、ソウル・マンウリ、インド	平成元年	1989	紙・水彩	額装	67.0×88.0
素-2	夕日、故郷	平成5年	1993	紙・水彩	額装	88.0×67.0
素-3	箱根・旧街道	平成5年	1993	紙・水彩	額装	62.0×49.0
素-4	鎌倉画室	平成5年	1993	紙・水彩	額装	49.0×62.0
素-5	ニューヨーク	平成6年	1994	紙・水彩	額装	62.0×49.0

※No.30「ジャポニズム 季の色」を除く全ての作品は箱根・芦ノ湖 成川美術館蔵

寺田コレクション受贈記念 平成の日本画

—時代を拓く画家たち

- 会期 平成28年6月17日（金）～7月18日（月・祝）
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 28日
- 入場者数 8,470人
- 観覧料 一般 310(260)円／高大生 210(150)円
小中生 150(100)円
※（ ）内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画 26点

●内容解説

茨城県天心記念五浦美術館では、美術コレクター寺田小太郎氏が収集してきた日本画作品による展覧会を平成25年と26年の2回にわたり開催し、これを機に寺田氏から茨城県に25点の日本画が寄贈された。寺田氏が収集してきた日本画の多くは、「山紫水明」や「花鳥風月」などの言葉に代表される日本人の美意識を表した作品や、自然に対する畏敬の念が感じられる作品など、日本人の自然観を反映したものとなっている。

寺田氏から寄贈された日本画を一堂に紹介する本展では、戦後の日本画壇を牽引してきた郷倉和子、稗田一稲らによる作品から、日本画の新たな可能性を切り拓く作家として注目を集めるフジイフランソワ、田中武らによる意欲作までを展示した。また、寺田氏が東京オペラシティアートギャラリーに寄贈した西田俊秀の屏風の大作「飄々海々」もあわせて展示し、寺田コレクションによる現代日本画の優品を紹介した。

●担当 永宮勤士(副主任学芸員)

●関連事業

第28回トワイライトコンサート

「ピアノ連弾で聴く白鳥の湖」

日時 7月3日(日)午後5時～

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 6月26日(日), 7月16日(土)

各日とも午後1時30分～(各回30分程度)

●関連記事

- ・「平成の日本画」企画展 17日から五浦美術館 多彩な26点 6月9日【読売新聞】
- ・寺田コレクション受贈記念 平成の日本画 6月24日【読売新聞】
- ・現代日本画 多様な広がり 県五浦美術館 寺田コレクション受贈記念展 重鎮から若手一堂に 7月4日【茨城新聞】
- ・平成の日本画 茨城県天心記念五浦美術館 7月7日【両毛新聞】

●関連放送

- ・「はらぺこキッズ」 6月25日【FMひたち】
- ・「いわきおもしろミュージアム」 6月26日【FMいわき】
- ・「県域ニュース」 7月2日【NHK水戸放送】



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ(cm)	所蔵
1	郷倉 和子	1914 -2016	早暁	平成 7 年	紙本・彩色・額装	40.5×52.5	*
2	稗田 一穂	1920-	潮音那智	昭和 60 年	紙本・彩色・額装	100.0×72.5	*
3	稗田 一穂	1920-	赫い陽一春	平成元年	紙本・彩色・額装	100.0×72.0	*
4	稗田 一穂	1920-	淡い月一冬	平成元年	紙本・彩色・額装	99.5×72.5	*
5	小山 硬	1934-	天草慈光	平成 16 年	紙本・彩色・四曲一隻屏風	167.0×340.0	*
6	小山 硬	1934-	早春譜	平成 19 年	紙本・彩色・額装	52.0×71.5	*
7	八田 哲	1943-	暮色	平成 4 年	紙本・彩色・額装	156.0×194.0	*
8	箱崎 睦昌	1946-	佐渡	平成 24 年	麻紙・黒箔・墨・顔料・六曲一隻 屏風	175.0×540.0	*
9	村田 茂樹	1946-	冬林	平成 2 年	紙本・彩色・四曲一隻屏風	181.8×290.0	*
10	畠中 光享	1947-	仏陀とアングリマーラ —私はとどまっているのに 汝は歩いていこう—	平成 17 年	絹本・彩色・六曲一隻屏風	172.0×380.0	*
11	畠中 光享	1947-	帰去来(祇孤独園)	平成 18 年	絹本・岩彩・墨・二曲一隻屏風	171.0×185.5	*
12	重岡 良子	1953-	薫白梅・華紅梅	平成 25 年	紙本・彩色・二曲一双屏風	各 156.3×180.6	*
13	西田 俊英	1953-	リュクサンブール公園	平成 13 年	紙本・彩色・額装	94.0×170.0	*
14	西田 俊英	1953-	飄々海々	平成 23 年	紙本・彩色・六曲一隻屏風	182.0×546.0	東京オペラシティ アートギャラリー
15	松本 祐子	1957-	月の雫	平成 7 年	紙本・彩色・額装	178.0×227.0	*
16	松本 祐子	1957-	夏の光Ⅱ	平成 11 年	紙本・彩色・額装	176.0×226.0	*
17	フジイフラン ソワ	1962-	オオゲツヒメノカミ	平成 24 年	和紙・鉛筆・銀箔・ルイボスティー・胡 粉・膠・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	180.0×85.0	*
18	フジイフラン ソワ	1962-	愛玩けむしはち	平成 24 年	和紙・鉛筆・銀箔・ルイボスティー・胡 粉・膠・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	24.3×40.9	*
19	フジイフラン ソワ	1962-	愛玩すずめ	平成 24 年	和紙・鉛筆・ルイボスティー・胡粉・膠 ・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	24.3×40.9	*
20	フジイフラン ソワ	1962-	愛玩蝶々	平成 24 年	和紙・鉛筆・金箔・ルイボスティー・胡 粉・膠・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	17.8×13.9	*
21	フジイフラン ソワ	1962-	座敷わがし見本図 壱	平成 24 年	和紙・鉛筆・ルイボスティー・胡粉・膠 ・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	27.5×45.5	*
22	フジイフラン ソワ	1962-	座敷わがし見本図 弐	平成 24 年	和紙・鉛筆・ルイボスティー・胡粉・膠 ・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	27.5×45.5	*
23	フジイフラン ソワ	1962-	座敷わがし見本図 参	平成 24 年	和紙・鉛筆・ルイボスティー・胡粉・膠 ・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	27.5×45.5	*
24	フジイフラン ソワ	1962-	桜虎もち	平成 24 年	和紙・鉛筆・金箔・ルイボスティー・胡 粉・膠・顔彩・水彩絵具・墨汁・額装	24.3×40.9	*
25	岩永 てるみ	1968-	サン・ラザール駅	平成 25 年	紙本・彩色・額装	98.5×98.5	*
26	田中 武	1982-	「隠」～十六恥漢図シリ ーズ～	平成 24 年	高知麻紙・岩絵具・アクリル絵具・珈 琲出汁・墨・額装	194.5×96.5	*

*は茨城県近代美術館蔵

佐久市立近代美術館の名作 日本画、新しき風にのせて

- 会期 平成28年7月23日（土）～9月4日（日）
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
協力：佐久市立近代美術館
後援：茨城新聞社，朝日新聞水戸総局，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，産経新聞水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，北茨城市

- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 39日
- 図録 A4変形版 縦28cm×横22.5cm 103頁
- 入場者数 10,159人
- 観覧料 一般620(510)円／高大生410(310)円
小中生210(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画 61点

●内容解説

戦後の日本画は、第二次世界大戦の敗戦による社会変革が進む中出発した。画家たちは新時代にふさわしい美術を求め、西洋美術の影響の下で新たな画材や技法に挑戦したり、前衛的な表現を模索したりしている。そうした表現も伝統的な美術を基礎とした上での新たな芸術の創造であり、また画家が個々の表現を模索した結果多彩な芸術が花開いていったことも忘れられない。現代では既存の公募団体展に留まらず、画廊や各種コンクールでの作品発表など活動の場もその表現方法も多様化し、国際的に活躍する画家も登場しているが、彼らもまた常に伝統美術を意識しながら自らの芸術を迫及している。

本展では、国内有数の日本画コレクションを誇る佐久市立近代美術館の所蔵品により、戦後から現代までの日本画の名作61点を紹介し、激動の戦後を力強く生きた

画家たちと平成の世に未来へ向かって突き進む若き作家たちの創造と模索の軌跡を、風景・人物・花鳥の3つのテーマに分けて検証した。

●担当 中田智則（首席学芸員）

●関連事業

スペシャルトーク

日時 7月23日(土) 午後1時30分～

講師 工藤美幸氏（佐久市立近代美術館専門員）

来て・見て・発見！アートツアーfor Kids

日時 8月7日(日) 午前10時～

山の日記念講演会「信州から来た日本画たちー佐久市立近代美術館コレクション」

日時 8月11日(木・祝) 午後1時30分～

担当 中田智則（首席学芸員）

学芸員によるギャラリートーク

日時 8月28日(日) 午後1時30分～

●関連記事

- ・戦後の名作一堂に 企画展「日本画 新しき風にのせて」 7月21日【毎日新聞】
- ・佐久市立近代美術の名作 日本画 新しき風にのせて 8月1日【新美術新聞】
- ・戦後日画壇 創造の軌跡 東山魁夷や平山郁夫氏ら若い時代の作品一堂 8月15日【茨城新聞】
- ・平山、魁夷ら名作一堂 北茨城「仏教伝来」「萌ゆる春」など 8月30日【読売新聞】

●関連放送

- ・「茨城放送スクーピーレポート」 8月11日【IBS茨城】
- ・「県域ニュース」 9月2日【NHK水戸放送】



図録 A4



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No.	制作者	生没年	作品名	制作年	材料・技法	形状	大きさ (cm)
I 風景に託した想い							
1	奥村 土牛	1889-1990	富士	昭和 51 (1976) 年	紙本・彩色	額装	65.8×81.7
2	山本 丘人	1900-1986	夕陽	昭和 43 (1968) 年	紙本・彩色	額装	45.5×60.8
3	岩橋 英遠	1903-1999	北国遅春	昭和 49 (1974) 年	紙本・彩色	額装	72.5×60.3
4	加藤 栄三	1906-1972	刻	昭和 44 (1969) 年	紙本・彩色	額装	181.0×216.0
5	東山 魁夷	1908-1999	萌ゆる春	昭和 44 (1969) 年	紙本・彩色	額装	32.0×45.3
6	荘司 福	1910-2002	径	昭和 58 (1983) 年	紙本・彩色	額装	109.0×162.0
7	奥田 元宋	1912-2003	夕巷	昭和 32 (1957) 年	紙本・彩色	額装	160.5×105.5
8	今野 忠一	1915-2006	源流	昭和 35 (1960) 年	紙本・彩色	額装	175.8×227.5
9	樋笠 数慶	1916-1986	離島	昭和 52 (1977) 年	紙本・彩色	額装	158.7×227.4
10	加倉井 和夫	1919-1995	丘の家	昭和 42 (1967) 年	紙本・彩色	額装	116.7×80.3
11	横山 操	1920-1973	雪原	昭和 38 (1963) 年	紙本・彩色	額装	242.0×605.0
12	稗田 一穂	1920-	霧を渡る蝶	昭和 50 (1975) 年	紙本・彩色	額装	231.7×156.0
13	川崎 鈴彦	1925-	隧道	昭和 54 (1979) 年	紙本・彩色	額装	229.0×158.0
14	岩澤 重夫	1927-2009	旦	昭和 55 (1980) 年	紙本・彩色	額装	89.3×145.0
15	平山 郁夫	1930-2009	善光寺	昭和 60 (1985) 年	紙本・彩色	額装	72.7×90.9
16	後藤 純男	1930-	浄苑残照	昭和 48 (1973) 年	紙本・彩色	額装	174.0×220.0
17	中路 融人	1933-	湖北の樹	昭和 48 (1973) 年	紙本・彩色	額装	240.0×178.0
18	滝沢 具幸	1941-	赤松	昭和 55 (1980) 年	紙本・彩色	額装	178.0×260.0
19	田淵 俊夫	1941-	刻	平成元 (1989) 年	紙本・彩色	額装	102.3×102.3
20	土屋 禮一	1946-	山	昭和 59 (1984) 年	紙本・彩色	額装	180.0×207.0
21	仲山 計介	1948-	漓江 (桂林屏風)	平成 4 (1992) 年	紙本・彩色	六曲一隻屏風	136.0×372.0
22	千住 博	1958-	ウォーターフォール	平成 12 (2000) 年	紙本・彩色	額装	130.3×197.0
23	菅原 健彦	1962-	亀島	平成 12 (2000) 年	紙本・彩色, 墨	パネル装	266.0×400.0
II 人間の存在を求めて							
24	小倉 遊亀	1895-2000	良夜	昭和 32 (1957) 年頃	紙本・彩色	額装	41.3×26.4
25	広田 多津	1904-1990	立像	昭和 50 (1975) 年	紙本・彩色	額装	146.0×97.3
26	橋本 明治	1904-1991	舞妓	昭和 51 (1976) 年	紙本・彩色	額装	54.8×46.4
27	三谷 十糸子	1904-1992	少女と森	昭和 36 (1961) 年	紙本・彩色	額装	217.5×148.5
28	片岡 球子	1905-2008	富士に舞う (陵王と還城楽)	昭和 44 (1969) 年	紙本・彩色	額装	80.0×116.5
29	秋野 不矩	1908-2001	唄うバウル (ベンガルの吟遊詩人)	昭和 59 (1984) 年	紙本・彩色	額装	144.5×59.0
30	岡本 彌壽子	1909-2007	無題	昭和 40 (1965) 年	紙本・彩色	額装	165.0×161.0
31	菊川 多賀	1910-1991	転生	昭和 48 (1973) 年	紙本・彩色	額装	176.5×226.8
32	守屋 多々志	1912-2003	女優須磨子	昭和 56 (1981) 年	紙本・彩色	額装	121.0×75.6
33	小野 具定	1914-2000	北辺A	昭和 36 (1961) 年	紙本・彩色	額装	182.0×259.0
34	月岡 榮貴	1916-1997	風神・雷神	昭和 46 (1971) 年	紙本・彩色	額装 (2面)	各 102.0×93.0
35	信太 金昌	1920-2015	回歸	昭和 60 (1985) 年	紙本・彩色	額装	160.5×225.0
36	平山 郁夫	1930-2009	仏教伝来	昭和 34 (1959) 年	紙本・彩色	二曲一隻屏風 (額装)	169.8×221.6
37	小山 硬	1934-	安達ヶ原	昭和 59 (1984) 年	紙本・彩色	四曲一隻屏風	165.0×335.2
38	福井 爽人	1937-	暝	昭和 51 (1976) 年	紙本・彩色	額装	112.5×145.8
39	下田 義寛	1940-	白い夢	昭和 44 (1969) 年	紙本・彩色, シルクスクリーン	額装	162.3×130.2
40	小嶋 悠司	1944-2016	群像 3-A	昭和 45 (1970) 年	麻布・彩色	額装	160.0×260.0

No.	制作者	生没年	作品名	制作年	材料・技法	形状	大きさ (cm)
41	倉島 重友	1944-	揺花	昭和 59(1984)年	紙本・彩色	額装	170.0×197.0
42	中島 千波	1945-	形態 *' 81.8	昭和 56(1981)年	紙本・彩色	額装	163.0×219.5
43	米谷 清和	1947-	電話	昭和 57(1982)年	紙本・彩色	額装	170.0×220.0
44	内田 あぐり	1949-	三態	昭和 57(1982)年	紙本・彩色	額装	180.0×270.0
III 生命を感じて							
45	望月 春江	1893-1979	菊	昭和 33(1958)年	紙本・彩色	額装	90.2×146.0
46	山口 華楊	1899-1984	猿	昭和 55(1980)年	紙本・彩色	額装	47.7×54.1
47	上村 松篁	1902-2001	閑日	昭和 46(1971)年	紙本・彩色	額装	34.0×46.3
48	吉岡 堅二	1906-1990	翔	昭和 61(1986)年	紙本・彩色	額装	151.0×273.3
49	高山 辰雄	1912-2007	明けゆく (薩摩鶏)	昭和 61(1986)年	絹本・彩色	額装	116.0×87.7
50	郷倉 和子	1914-2016	満月	昭和 43(1968)年	紙本・彩色	四曲一隻屏風	173.4×332.6
51	毛利 武彦	1920-2010	風立つ	昭和 53(1978)年	紙本・彩色	額装	181.0×236.5
52	松尾 敏男	1926-2016	洪水	昭和 47(1972)年	紙本・彩色	額装	174.5×235.0
53	加山 又造	1927-2004	野牛	昭和 28(1953)年	麻布・彩色	額装	130.3×162.0
54	岡 信孝	1932-	露蝶	昭和 63(1988)年	紙本・彩色	二曲一隻屏風	170.0×170.0
55	上村 淳之	1933-	秋鶴 I・II	昭和 48(1973)年	紙本・彩色	額装 (2面)	各 203.2×143.0
56	那波多目 功一	1933-	生々	昭和 57(1982)年	紙本・彩色	額装	213.0×146.2
57	佐藤 晨	1935-	青い月	平成 24(2012)年	紙本・彩色	額装	112.1×193.0
58	中野 嘉之	1946-	夕の回想	昭和 62(1987)年	紙本・彩色	額装	181.8×227.3
59	岡村 桂三郎	1958-	迦楼羅 07-3	平成 19(2007)年	板・彩色	六曲一隻屏風	235.0×720.0
60	福井 江太郎	1969-	歩	平成 12(2000)年	紙本・彩色	パネル装	180.0×540.0
61	谷保 玲奈	1986-	泡と満ち欠け	平成 24(2012)年	紙本・彩色	パネル装	190.0×190.0

※ 本目録掲載作品は、佐久市立近代美術館蔵
 ※ 出品番号は章ごとに生年順

招福 吉祥のかたち

●会期 平成28年11月29日(火)～平成29年1月15日(日)

●主催 茨城県天心記念五浦美術館

●ポスター B2

●チラシ A4

●開催日数 39日

●入場者数 8,434人

●観覧料 一般310(260)円／高大生210(150)円
小中生150(100)円

※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画21点 染織2点 陶磁器3点

●内容解説

幸福や繁栄など縁起のよいことを「吉祥」と呼び、その象徴となる動植物等は古くから絵画に描かれたり、工芸品の意匠とされたりしてきた。これら吉祥の意を表した絵画や工芸品は、繁栄、健康、長寿、成功などを祈念し、現在でもお正月や七五三、結婚式など様々な行事や祝事などで用いられている。その代表ともいえる松竹梅だが、厳しい寒中に常緑を保つ「松」は不老長寿を、しなやかで強い生命力をもつ「竹」は子どもの健やかな成長を、春の先駆けとして美しい花を咲かせる「梅」は清廉潔白を象徴している。また、牡丹は富貴、桃は長寿を象徴するものとされて花鳥画に好んで描かれた。さらに、不老不死を意味する蓬莱山や富士山、理想郷である桃源郷などは招福の象徴とされている。

本展覧会では、新年を迎えるにあたり祝意が込められた日本画の他、一橋徳川家伝来の染織、板谷波山の陶磁器など多彩な吉祥の作品26点を紹介した。

●担当 富永京子(首席学芸主事)

●関連事業

来て・見て・発見!アートツアーfor Kids

日時 12月17日(土) 10時～

新春寄席「初笑い!五浦寄席」

日時 1月3日(火)

第1部午前11時～ 第2部午後2時～

出演 吉田翔真 五十嵐理子(茨城大学落語研究会)

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 1月7日(土) 午後1時30分～

新春コンサート「春を呼ぶ バイオリンの調べ」

日時 1月9日(月・祝) 第1部午前11時～

第2部午後2時～

出演 野口わかな(バイオリン) 澤辺明音(ピアノ)

●関連記事

・「吉祥」に焦点 よい年を 五浦美術館で企画展

12月17日【朝日新聞】

・「吉祥」ちなんだ企画展 五浦美術館

12月21日【読売新聞】

・幸せ願う「吉祥」意匠 来月15日まで県五浦美術館 日本画や工芸品集め展示

12月22日【茨城新聞】

●関連放送

・「いばっちゃんお」 12月6日【NHK水戸放送】

・「県域ニュース」 12月6日【NHK水戸放送】

・「はらぺこキッズ」 12月11日【FMひたち】



ポスター B2



チラシ A4



出品作品一覧

展示期間 前期:平成28年11月29日(火)~平成28年12月16日(金)

後期:平成28年12月17日(土)~平成29年1月15日(日)

所蔵 ※は茨城県近代美術館蔵

作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ (cm)	所蔵	備考	
日本画								
1	河鍋曉斎	1831~1889	恵比寿大黒豆撒図	明治9年	絹本・彩色・軸装	44.5×72.3	個人蔵	
2	奥原晴湖	1837~1913	芦雁図	明治13年	紙本・墨画・淡彩・軸装	147.4×78.9	※	前期のみ
3	奥原晴湖	1837~1913	富貴飛燕・芙蓉翡翠	明治28年	絹本・彩色・軸装・対幅	各131.0×42.7	※	
4	小川芋銭	1868~1938	不死之谷『飯村丈三郎 古稀記念画冊』より	大正11年	絹本・彩色・画冊	36.3×26.1	個人蔵	
5	小川芋銭	1868~1938	黒龍	昭和3年頃	紙本・墨画・軸装	23.5×52.0	※	篠目篤氏 寄贈
6	小川芋銭	1868~1938	菟玖波仙郷	昭和11年頃	紙本・淡彩・軸装	30.1×34.0	※	
7	小川芋銭	1868~1938	寿老	昭和12年	紙本・淡彩・軸装	21.0×53.5	※	前期のみ
8	横山大観	1868~1958	四方竹	大正14年	絹本・墨画・軸装	124.3×41.6	※	前期のみ
9	横山大観	1868~1958	山に因む十題 霊峰四趣・其一春	昭和15年	紙本・彩色・軸装	75.2×110.7	※	
10	横山大観	1868~1958	蓬萊山	昭和21年頃	絹本・彩色・軸装	50.0×58.0	※	結城四郎 氏寄贈
11	下村観山	1873~1930	老松	大正5年頃	紙本・彩色・屏風六曲一双	168.0×370.2	※	
12	菱田春草	1874~1911	富士	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	40.9×65.2	※	関澤賢氏 寄贈
13	木村武山	1876~1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「松図」	大正7年頃	杉戸・彩色(8面)	各199.0×148.0	個人蔵	
14	木村武山	1876~1942	須磨御殿彩色杉戸絵 「富岳図」	大正7年頃	杉戸・彩色(4面)	各199.0×148.0	個人蔵	
15	平福百穂	1877~1933	早梅	昭和2~3年頃	紙本・彩色・軸装	138.6×41.8	※	
16	永田春水	1889~1970	春暉曉艶	大正15年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各210.0×165.0	※	
17	永田春水	1889~1970	万年孔雀図	昭和12年頃	絹本・金地彩色・屏風二曲 一双	各171.0×172.0	※	
18	小野竹喬	1889~1979	武陵桃源	大正7年頃	絹本・彩色・屏風六曲一双	各164.0×373.5	※	
19	加倉井和夫	1919~1995	巖松	平成4年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	171.5×168.0	個人蔵	
20	加倉井和夫	1919~1995	篁	平成4年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	171.5×168.0	個人蔵	
21	加倉井和夫	1919~1995	白梅	平成4年	紙本・彩色・屏風二曲一隻	171.5×168.0	個人蔵	
工芸								
22	一橋徳川家伝来		紅白段唐花打板模様唐織	江戸時代後期	染織	丈145.3 桁67.7	茨城県立歴史館	後期のみ
23	一橋徳川家伝来		白地松皮菱変捻梅模様袷法被	江戸時代後期	染織	丈115.0 桁97.0	茨城県立歴史館	後期のみ
24	板谷波山	1872~1963	彩磁延壽文花瓶	昭和初期	磁器	高さ21.1 幅23.1	茨城県陶芸美術館	
25	板谷波山	1872~1963	氷華磁延壽文花瓶	昭和27年	磁器	高さ25.3 幅8.2	茨城県陶芸美術館	
26	板谷波山	1872~1963	青磁牡丹文花瓶	昭和37年	磁器	高さ28.8 幅16.3	茨城県陶芸美術館	

国際交流基金所蔵

海を渡った日本の名品

- 会期 平成29年1月19日(木)～2月19日(日)
- 主催 茨城県天心記念五浦美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 28日
- 入場者数 9,555人
- 観覧料 一般310(260)円／高大生210(150)円
小中生150(100)円
※()内は20名以上の団体料金
- 出品点数 日本画11点 陶芸32点
- 内容解説

独立行政法人国際交流基金は、古美術から現代アートにいたるまで、様々なジャンルの美術作品を国内外で紹介する展覧会を行っている。本展では、その所蔵品の中から戦後の日本美術を代表する作家による、現代の日本画と陶芸の優品を紹介した。

日本画では、シルクロードを描き続けた平山郁夫の風景画や、上野泰郎の祭壇画形式の作品など海外との直接的な関わりを思わせるものから、山口華楊や上村松篁の花鳥画といった日本の伝統的な美術に根ざしたものまで、また陶芸では、人間国宝の富本憲吉、濱田庄司、酒井田柿右衛門(十四代)の他、国内外の多くのファンを魅了した北大路魯山人や笠間の月崇寺で制作を行った松井康成まで、まさしく「海を渡った日本の名品」としてふさわしい作品を一堂に会した。

- 担当 塩田积雄(学芸員)

●関連事業

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 1月28日(土) 2月11日(土・祝)
各日共 午後1時30分～

●関連記事

- ・国際交流基金所蔵 海を渡った日本の名品
1月31日【毎日新聞】
- ・海を渡った日本の名品 茨城県天心記念茨城五浦美術館
2月1日【両毛新聞】

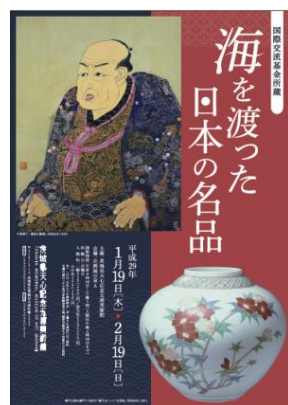
●関連放送

- ・「はらぺこキッズ」
1月21日【FMひたち】

● 出品作品一覧



ポスター B2



チラシ A4

NO	作家名	作品名	制作年	材質・技法・形状	大きさ (cm)
日本画					
1	伊東 深水	バリ島	不詳	紙本・彩色・額装	43.0×57.5
2	山口 華楊	春盡	1980	紙本・彩色・額装	91.0×65.0
3	上村 松篁	鳥	1980	紙本・彩色・額装	81.0×116.0
4	片岡 球子	喜多川歌麿	1978	紙本・彩色・額装	160.0×130.0
5	小野 具定	漁港	1977	紙本・彩色・額装	260.0×170.0
6	工藤 甲人	霧	1979	紙本・彩色・額装	142.0×200.0
7	堀 文子	花吹雪、風	1979	紙本・彩色・額装(二面)	各 186.0×82.0
8	近藤 弘明	幽淵	1967	紙本・彩色・額装	133.5×185.0
9	上野 泰郎	裁きの時	1974	紙本・彩色・屏風(観音開き)	200.0×260.0
10	麻田 鷹司	竹生島図	1973	紙本・彩色・額装	182.0×176.0
11	平山 郁夫	西域の千仏洞	1979	紙本・彩色・額装	113.0×162.0
陶芸					
12	北大路 魯山人	雲錦手大鉢	1940年代	陶器	20.0×37.0
13	富本 憲吉	柘榴色絵皿	1945	磁器	8.7×41.3
14	河井 寛次郎	呉須花扁壺	1940年代	陶器	21.0×14.0
15	濱田 庄司	柿釉抜絵皿	1965頃	陶器	6.0×32.0
16	濱田 庄司	塩釉鉄砂抜絵花瓶	1970頃	陶器	27.0×13.0
17	濱田 庄司	黒釉面取錆流掛花瓶	1972	陶器	34.5×14.0
18	十二代 今泉 今右衛門	色鍋島八角更紗文額皿	1958	磁器	6.5×41.0
19	近藤 悠三	柘榴染付皿	1978	磁器	5.5×32.0
20	田村 耕一	ほたる袋大壺	1978	陶器	31.0×32.0
21	藤本 能道	色絵かわせみ文八角筥	1977	磁器	8.5×27.0
22	島岡 達三	飴釉象嵌唐草文皿	1977	陶器	14.0×54.0
23	十三代 今泉 今右衛門	色鍋島薄墨紫蘭文鉢	1985	磁器	11.5×45.0
24	清水 卯一	蓋付青磁壺	1978	磁器	28.0×27.0
25	松井 康成	練上風白地壺	1987	陶器	26.1×26.8
26	藤原 雄	備前大徳利	1977	陶器	34.0×28.0
27	加守田 章二	花生壺	1978	陶器	23.5×34.0
28	三浦 小平二	青磁佛手飾り壺	1987頃	磁器	27.0×29.0
29	三代 徳田 八十吉	燦彩小紋花器	1989頃	磁器	30.0×32.0
30	十四代 酒井田 柿右衛門	濁手苺文鉢	1983	磁器	11.5×46.5
31	十四代 酒井田 柿右衛門	濁手山つつじ文花瓶	1987	磁器	24.0×27.0
32	五代 伊藤 赤水	無名異窯変細口壺	1985頃	陶器	39.0×38.0

再興第101回院展 茨城五浦展

- 会期 平成29年2月25日(土)～3月30日(木)
- 主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館
公益財団法人 日本美術院
後援：茨城新聞社，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局，朝日新聞水戸総局，産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，NHK水戸放送局，株式会社茨城放送，北茨城市

- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 29日
- 図録 240×250mm 116頁
編集：公益財団法人 日本美術院
発行：公益財団法人 日本美術院
- 入場者数 9,160人
- 観覧料 一般 620(510)円／高大生 410(310)円
小中生 210(150)円
※()内は20名以上の団体料金

●出品点数 日本画 66点

●内容解説

明治31(1898)年、岡倉天心が中心となって、新しい日本画の創出を目指して設立された日本美術院は、明治39年、東京谷中から茨城県の最北端にある景勝地五浦に移り、横山大観、下村観山ら五浦の画家たちが研さんを積み、近代日本画の礎を築いた。大正2年、天心は逝去したが、その精神を受け継いだ大観、観山らによって再興の機運が高まり、翌大正3年、日本美術院は再興され、以後多くの優れた日本画家を輩出するなど、今日、日本画壇を代表する美術団体のひとつとして知られている。

今回の茨城五浦展では、田淵俊夫、那波多目功一ら日本美術院同人の作品31点に加え、日本美術院賞、奨励賞、第22回天心記念茨城賞の受賞作品、さらには茨城県ゆかりの画家の作品等、あわせて66点を紹介した。

●担当 大村健太郎(主任学芸主事)

●関連事業

出品画家によるギャラリートーク及びサイン会

日時 2月25日(土)

ギャラリートーク 午前9時50分～

講師 那波多目功一(日本美術院同人・日本芸術院会員)

倉島重友(日本美術院同人)

サイン会 午前10時50分～

展覧会担当によるギャラリートーク

日時 3月4日(土)，3月20日(月・祝)

各日午後1時30分～

日本画体験実技講座「春を告げる 花と小鳥を描く」

日時 3月18日(土)～19日(日)

各日午前10時～

講師 河本真里(第22回天心記念茨城賞受賞・日本美術院院友)

●関連記事

- ・日本画の力作66点 天心記念五浦美術館
2月15日【毎日新聞】
- ・大観の精神継ぐ66点 25日から 五浦美術館で再興院展
2月17日【読売新聞】
- ・再興院展から66点 25日～3月30日 県五浦美術館
天心記念賞は河本さん 2月20日【朝日新聞】
- ・本県ゆかりの作家ら66点 院展茨城五浦展が開幕
北茨城 2月26日【茨城新聞】
- ・院展 茨城五浦展 茨城県天心記念五浦美術館
2月28日【両毛新聞】

●関連放送

- ・NHKお昼のニュース 3月28日【NHK水戸放送局】



図録



ポスター B2



チラシ A4

● 出品作品一覧

No	氏名	作品名	サイズ (縦×横)	現住所	出身地	備考
■同人(同人推挙順)						
1	後藤 純男	夕秋大和	90.5 × 116.0		千葉	平成28年10月 逝去
2	下田 義寛	早暁 シバザクラ	159.5 × 191.5	東京	富山	
3	小山 硬	駿河懸崖	167.5 × 340.0	愛知	熊本	
4	鎌倉 秀雄	梅花早春	159.8 × 126.3	東京	東京	
5	福井 爽人	影映	230.0 × 185.0	東京	北海道	
6	伊藤 彰耳	葉桜のころ	165.5 × 382.0	神奈川	福岡	
7	田淵 俊夫	飛鳥川心象 春萌ゆ	175.5 × 368.0	東京	東京	
8	那波多目 功一	アイガー北壁	223.5 × 336.7	東京	茨城	
9	手塚 雄二	冬の川	205.3 × 387.0	東京	神奈川	
10	福王寺 一彦	月と星の光の中で	192.0 × 170.0	東京	東京	
11	梅原 幸雄	雪夜 (鬼の棲む画室)	220.0 × 309.0	東京	三重	
12	清水 達三	潮騒	194.0 × 314.7	和歌山	和歌山	
13	宮廻 正明	閑心遠目	213.0 × 283.6	東京	島根	
14	菊川 三織子	ふたり	173.5 × 123.5	東京	北海道	
15	西田 俊英	コロポックルの月	182.0 × 365.0	東京	三重	
16	松村 公嗣	春待つ	175.5 × 368.0	愛知	奈良	
17	大矢 紀	耀	207.0 × 252.5	神奈川	新潟	
18	高橋 天山	花供養	174.7 × 358.0	東京	東京	
19	川瀬 磨士	北端の岬	211.5 × 278.5	愛知	愛知	
20	吉村 誠司	夏窓	209.6 × 229.6	神奈川	福岡	
21	村上 裕二	気	208.5 × 231.5	東京	東京	内閣総理大臣賞
22	今井 珠泉	風簾	204.3 × 295.0	東京	福島	
23	倉島 重友	微風	190.0 × 235.0	茨城	長野	
24	清水 由朗	天文時計	191.3 × 384.5	東京	和歌山	
25	齋藤 満栄	金魚	171.0 × 380.0	神奈川	新潟	
26	小田野 尚之	雪の朝	234.0 × 184.0	神奈川	神奈川	
27	宮北 千織	華	234.0 × 197.0	東京	東京	
28	大野 逸男	信仰の道	247.0 × 201.5	埼玉	埼玉	文部科学大臣賞
29	北田 克己	行く水	181.6 × 324.3	東京	東京	
30	村岡 貴美男	幻想庭園	191.8 × 238.8	東京	京都	
31	井手 康人	無常	192.5 × 379.0	岡山	福岡	
■入選作(招待・無鑑査を含む。50音順)						
32	荒井 孝	祈り	225.0 × 180.0	栃木	栃木	奨励賞
33	石村 雅幸	樹洞	225.0 × 180.0	茨城	愛媛	
34	岩永 てるみ	広場への途	222.5 × 177.5	愛知	大分	
35	大久保 智睦	呈色の時	180.0 × 225.0	東京	東京	
36	鬼塚 堅太	採石鉱山	225.0 × 180.0	茨城	茨城	
37	河本 真里	雨宿り	180.0 × 225.0	愛知	愛知	奨励賞(第22回天心記念茨城賞)
38	岸野 香	旋律	180.0 × 225.0	東京	栃木	
39	國司 華子	もののね	225.0 × 180.0	茨城	東京	
40	小林 路子	大樹	221.5 × 175.5	新潟	新潟	奨励賞
41	齋藤 竜太	朝靄	170.0 × 216.0	茨城	茨城	
42	鈴木 恵麻	時語り	176.0 × 223.0	神奈川	神奈川	
43	染谷 香理	ハレの遊	220.0 × 175.0	埼玉	島根	奨励賞

No	氏名	作品名	サイズ(縦×横)	現住所	出身地	備考
44	高島 圭史	海の秘密	180.0 × 215.0	富山	兵庫	
45	高田 峻典	音色	180.0 × 210.0	千葉	千葉	奨励賞
46	武部 雅子	Talking In Your Sleep	180.0 × 225.0	神奈川	神奈川	奨励賞
47	中井 香奈子	時間行路	225.0 × 180.0	山形	愛知	奨励賞
48	中村 譲	塹坑	225.0 × 180.0	広島	香川	
49	並木 秀俊	月影	160.0 × 210.0	東京	千葉	奨励賞
50	西岡 悠妃	醒めない夢	215.0 × 170.0	東京	東京	奨励賞
51	羽子田 長門	遊牧の朝	225.0 × 185.0	茨城	茨城	
52	番場 三雄	砂礫の峠	225.0 × 180.0	山形	新潟	
53	前田 力	憂いの街	180.0 × 225.0	広島	千葉	日本美術院賞(大観賞)
54	前原 満夫	限界集落	225.0 × 180.0	静岡	静岡	
55	松岡 歩	環	180.0 × 225.0	千葉	神奈川	
56	松本 高明	朝靄	180.0 × 215.0	静岡	三重	
57	三浦 愛子	ねるしたく	178.0 × 223.0	神奈川	神奈川	奨励賞
58	水野 淳子	さ迷う	180.0 × 225.0	広島	愛知	奨励賞
59	守 みどり	室内風景	225.0 × 180.0	茨城	千葉	奨励賞
60	森 友紀恵	くさむら	179.0 × 224.0	茨城	愛知	初入選
61	谷中 武彦	風の道	175.0 × 219.0	東京	茨城	
62	山本 浩之	道化	225.0 × 180.0	茨城	山口	日本美術院賞(大観賞)
63	藁谷 実	廻廊	225.0 × 180.0	広島	千葉	
64	王 培	久遠	225.0 × 180.0	広島	中国	奨励賞
■ 特別出品						
65	松尾 敏男	月輝く古都	193.0 × 386.0		長崎	再興第94回院展出品作品(2009年)
66		寒牡丹	60.6 × 72.7			「創と造」出品作品(2016年)

KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭特別展示

チームラボ 小さき無限に咲く花の、かそけき今を思いうなりけり

- 会期 平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
- 主催 茨城県北芸術祭実行委員会
- ポスター B2
- チラシ A4
- 開催日数 65日
- 入場者数 55,919人
- 観覧料 一般1,000円(900円) / 学生・高齢者700円(600円)
※()内は20名以上の団体料金
※作品鑑賞パスポート 前売り 一般2,000円 学生・高齢者1,000円
当日 一般2,500円 学生・高齢者1,500円

●出品点数 7点

●内容解説

茨城県では、かつて五浦の地を岡倉天心や横山大観らが創作の拠点として制作に励んだこと、また常陸太田市の周辺の里山でクリストが「アンブレラ・プロジェクト」を実施したことなど、アートを喚起させる県の北部の海有り山有りの豊かな自然と現代アートとを結びつけ、県北の文化と地域の振興をめざした「第一回県北芸術祭—海か山か芸術か—」を開催した。

地域資源を活用しながら、新規性・話題性のあるアーティストの起用、多くの海外アーティストの参加による国際性、さらには科学技術とアートを結び付けた斬新な作品の展開に取り組んだが、その一拠点として、五浦の地にある当館では、チームラボの「小さき無限に咲く花のかそけき今を思いうなりけり」が展示された。

チームラボとは、アート・サイエンス・テクノロジー・クリエイティビティの境界を曖昧にしながら活動しているプログラマー、エンジニア、CGアニメーター、絵師、数学者、建築家、ウェブデザイナー、グラフィックデザイナー、編集者などデジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノジスト集団である。

本展では、岡倉天心が「茶の本」の中で「日本の心は茶に宿っている(人の所作や細部には無限の宇宙が広がっていて、それが日本の心であり茶である)」と書いてあるところからイメージした茶室(お茶を立てると茶碗の中の茶に花々が咲いていくゆく)や「世界はこんなにもやさしくうつくしい」などの体験型の作品を通して、すべてのものが移り変わっていくという世界観と、無限の宇宙に存在する私たちのありようを天心の思想をもとに表現しようとした。



ポスター B2



チラシ A4



五浦マップA4

2 岡倉天心記念室

●概要 多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年6回の展示を行った。

●会期及び出品目録

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
■第1回 平成28年4月16日(土)～6月15日(水)							
1	横山 大観	1868-1958	海暁	明治38年頃	絹本・彩色・軸装	117.0×50.0	
2	横山 大観	1868-1958	秋の夕	明治35年	絹本・彩色・軸装	121.7×50.5	
3	菱田 春草	1874-1911	春の朝	明治35年	絹本・彩色・軸装	122.0×50.8	
4	木村 武山	1876-1942	弁財天	大正15年	絹本・彩色・軸装	181.1×85	
5	木村 武山	1876-1942	不動明王(模写)	昭和10年頃	紙本・彩色・軸装	134.2×74.1	寄託
■第2回 平成28年6月16日(木)～8月19日(金)							
1	横山 大観	1868-1958	月明	昭和6年頃	絹本・彩色・軸装	136.6×41.7	
2	横山 大観	1868-1958	月満山	昭和12年	紙本・彩色・軸装	65.4×99.3	
3	菱田 春草	1874-1911	五浦ノ月	明治40～41年	絹本・彩色・軸装	84×50	
4	木村 武山	1876-1942	七草	大正8年頃	絹本・彩色・軸装	142×50	
5	木村 武山	1876-1942	立葵	大正9～10年頃	絹本・彩色・軸装	133.6×49.7	
■第3回 平成28年8月20日(土)～10月14日(金) ※「樹下美人」は9月16日まで。「流燈」は9月17日より展示。							
1	横山 大観	1868-1958	隠棲	明治35年	絹本・彩色・軸装	120×49	
2	横山 大観	1868-1958	樹下美人	明治45年頃	絹本・彩色・軸装	123×51	9月16日まで展示
3	横山 大観	1868-1958	流燈	明治42年	絹本・彩色・軸装	143.1×51.5	9月17日から展示
4	菱田 春草	1874-1911	砧	明治38年頃	絹本・彩色・軸装	49.4×83.5	
5	下村 観山	1873-1930	高士観瀑	大正8年	絹本・彩色・軸装・ 対幅	各142.2×55.3	
6	木村 武山	1876-1942	小楠公	明治36年頃	絹本・彩色・軸装	140.3×64.8	
■第4回 平成28年10月15日(土)～12月11日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	飛泉	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.2	No.2と対幅
2	菱田 春草	1874-1911	秋溪	明治35年	絹本・彩色・軸装	125.3×41.3	No.1と対幅
3	菱田 春草	1874-1911	落葉	明治42年	絹本・彩色・屏風(二 曲一双)	152.8×151.8	
4	下村 観山	1873-1930	雨中鷺	明治41年頃	紙本・墨画・軸装	70.0×121.3	
■第5回 平成28年12月19日(土)～平成29年2月14日(日)							
1	横山 大観	1868-1958	岩礁の鶴	明治37年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	寄託
2	横山 大観	1868-1958	松月雪景	明治37～38年	絹本・彩色・額装	49.9×87.6	寄託
3	下村 観山	1873-1930	帰漁の図	明治37～38年	絹本・彩色・額装	87.5×50	寄託
4	岡倉 天心	1863-1913	ロバと人物	明治37年	絹本・墨画彩色・額装	49.3×86.7	寄託
5	岡倉 天心	1863-1913	山水の図	明治37年	絹本・彩色・額装	80.8×27.5	寄託
6	岡倉 天心	1863-1913	竹の図	明治37年	絹本・彩色・額装	91.8×24.3	寄託
■第6回 平成29年2月16日(火)～4月15日(金)							
1	横山 大観	1868-1958	赤壁	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	123.5×48.2	
2	横山 大観	1868-1958	釈迦	明治40年頃	絹本・彩色・軸装	49.3×86.7	寄託
3	菱田 春草	1874-1911	普賢菩薩	明治35年頃	絹本・彩色・軸装	94.5×49.8	
4	菱田 春草	1874-1911	林和靖	明治41年	絹本・彩色・軸装	116.0×50.3	
5	木村 武山	1876-1942	義家勿来関	明治40～41年	絹本・彩色・軸装	120.3×50.7	寄託

(2) 資料テーマ展示

天心及び五浦に関わりのあるテーマに関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

- テーマ名** 天心の弟岡倉由三郎Ⅱ 海外での日本文化紹介
- 会 期** 平成 28 年 4 月 1 日(金)～9 月 30 日(金)
- 内容解説** 岡倉由三郎は天心の実弟であり、英語学者として近代日本の英語教育とその普及に大きな業績を残す一方で、海外で日本に関する講演を依頼され、それを元にした英文著書の発行を通して日本文化を欧米に紹介している。天心の弟岡倉由三郎を紹介する第 2 回目の展示となる今回は、明治 43 年のボストンでの講演会に関する諸資料を展示し、由三郎の海外での日本文化紹介というもう一つの業績を紹介した。
- 展示資料**
 - ・「ラングドン・ウォーナー書簡 岡倉天心宛」明治 42 年(1909)4 月 27 日 当館蔵
 - ・岡倉由三郎「“Japan, Past and Present” (日本、その過去と現在)タイプ稿」明治 43 年(1910) 当館蔵
 - ・岡倉由三郎「“The Life and Thought of Japan” (日本の生活と思想)」大正 2 年(1913)10 月
デント社(ロンドン、トロント) 当館蔵
- 担 当** 永宮勤士(副主任学芸員)
- 関連記事** まちかど・天心の実弟の活動紹介 5 月 4 日【朝日新聞】

- テーマ名** 仏像を守り抜いた男 新納忠之介～新納忠之介の修復事業～
- 会 期** 平成 28 年 10 月 1 日(土)～平成 29 年 5 月 31 日(水)
- 内容解説** 平成 26 年度に新納忠之介の旧蔵資料およそ 2300 点が当館へ寄贈されたことを受け、仏像の修復に生涯を捧げた新納の業績を紹介した。新納は岡倉天心の薫陶を受け、近代的な文化財保護の修復方法とその理念を確立した人物として知られる。新納旧蔵資料の展示の第 1 回目として、新納の調査および修復の記録を初公開した。
- 展示資料**
 - ・「内務省辞令 滋賀縣へ出張ヲ命ス」明治 33 年 当館蔵
 - ・新納忠之介「記録帳」明治 33 年 当館蔵
 - ・新納忠之介「記録帳」大正 12 年 当館蔵
- 担 当** 塩田积雄(学芸員)
- 関連記事** 仏像守った男 資料を初展示 県五浦美術館 11 月 11 日【朝日新聞】